

# 第1次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

## 基本目標1: 家庭、地域、学校などにおける子どもの読書活動の推進

【事業評価】		【事業方針】
◎	計画どおり実施されている	継続
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実
△	大幅に計画から遅れている	改善
×	未実施	縮小
		廃止

### 1 家庭における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	乳幼児期は読書活動にとって大切な時期です。赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート*1」を実施し、乳幼児期における読書活動を支援します。さらに、保護者が絵本などの読み聞かせを行い、本に親しむ家庭環境を作ることが大切であることを啓発します。	18	市民課 健康推進課 中央図書館	重点施策1  ○	ブックスタートの参加者は、H25年度86人、H26年度316人、H27年度348人、H28年度386人と増えてはいるが、対象児全員の参加には至っていない。(出生率H25年度704人、H26年度718人、H27年度749人、H28年度687人)	充実
2	家族で読書を楽しむ時間を持ち、本を囲んで語り合うことにより親子のコミュニケーションを深め、親子の触れ合いの中で家庭読書を行うよう啓発します。加えて「ノーテレビデー・ノーゲームデー*2」の実践など、家庭での読書の機会を増やすよう呼びかけます。	19	中央図書館	△	平成28年度から読書手帳(読書履歴の記録)を作成し、市内小学校の3年生へ配布した。また、図書館内及び児童館へ設置、図書館ホームページにデータを掲載、児童閲覧室企画展示を13回開催し、家庭での読書をするきっかけづくりをした。「ノーテレビデー・ノーゲームデー」は未実施。	改善
3	中央図書館では、保護者を対象とした図書館講座や講演会を開催し、家庭での読書の大切さを啓発します。			◎	児童書講演会を毎年、年1回開催した。	廃止
4	中央図書館では、「あかちゃんえほんのリストー〇さいからのおすすめ」冊子の配布、同冊子のおすすめ絵本コーナーの常設をはじめ、子どもたちにとって良質な図書資料の充実、推薦に努めます。			◎	ブックスタート事業で冊子リストの配布(H25年度86冊、H26年度316冊、H27年度348冊、H28年度386冊)をし、児童閲覧室内に冊子リストを掲示し、配布の案内をした。	廃止

5	中央図書館では、大型絵本や録音資料などを中心に収集し、障がいのある子どもたちのためのサービスの充実に努めます。	19	中央図書館	◎	大型絵本(蔵書冊数230冊)、朗読のCD(103枚)等の収集をした。また、平成28年度からバリアフリー絵本コーナーを設置し、布絵本19冊、点字絵本11冊、手で触る絵本16冊などを収集し、障がい者サービスを拡大した。	廃止
6	中央図書館では、おはなし会を定期的を開催し、家庭での子どもの読書活動を支援します。			◎	ボランティアによる読み聞かせをし、おはなし会を年間計画どおりに実施できた。(H25年度68回、H26年度62回、H27年度68回、H28年度69回)	廃止
7	中央図書館では、学校連携司書を中心に子どもたちの読書相談に応えます。			◎	中央図書館と学校連携司書が連携し、子どもたちの読書相談に対応したことにより、より充実な体制を整えた。	廃止

## 2 中央図書館における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	子どもたちにとって一層魅了ある中央図書館となるため、良質な図書館資料の充実に努めます	20	中央図書館	◎	児童図書を継続して購入した。(H25年3,466冊、H26年3,965冊、H27年4,443冊、H28年2,761冊)評価の定まったロングセラーの本等を収集し児童図書資料の全体の質を保った。	継続
2	子どもの読書活動推進に係る図書館講座、児童書講演会などの事業の充実に努めます。			◎	児童書講演会を毎年、年1回開催した。	廃止
3	子どもたちの本への要求に応えるために、子どもたちを対象にしたリクエスト*3申込方法を企画します。			×	中央図書館学校連携司書によるリクエスト制度の照会はしたが、子ども専用紙等は設けていない。	廃止
4	子どもたちのためのレファレンス*4 事業を充実させます。			◎	中央図書館と学校連携司書が連携し、子どもたちの読書相談に対応したことで、より充実な体制を整えた。	継続
5	中学生や高校生、いわゆるヤングアダルト*5を対象にした図書館資料の充実および図書館活用の利便性の向上を図ります。			◎	閲覧室にヤングアダルトの専用書架を設け、約1,000冊の本を収集した。展示する棚を新たに設け、コーナーを3倍に増やした。図書館のホームページに専用ページを設け、PRに努めた。また、2階多目的ルーム横に「ほんのひとやすみ」コーナーを設け、おすすめ本の紹介コーナーを設置した。投書は中高生向けコーナーに掲示した。	廃止
6	「子ども読書の日*6」や「読書週間*7」に合わせ、子どもたちが楽しく参加できる事業を企画します。			○	毎年4月23日の子ども読書の日に、終日読み聞かせをする「いちにちおはなし会」を実施した。読書週間の取組は計画どおりできなかった。	廃止
7	小学3年生の「図書館見学」や中学生の「職場体験」を通して地域社会における図書館の役割、図書館での本の探し方などを学び、中央図書館が子どもたちにとって一層身近な存在となる事業を充実します。			◎	図書館見学および職場体験を計画どおり実施し、子どもたちの図書館についての見識が深まった。(職場体験受入人数H25年6人、H26年11人、H27年8人、H28年11人)	継続
8	高校生を対象とした「インターンシップ*8」など子どもたちが地域社会における図書館の重要性を理解できる事業を企画します。			×	高校生のインターンシップは、未実施。高校生への働きかけは、中高生専用書架の設置に留まった。	改善

9	乳幼児のためのおはなし会から英語のおはなし会まで、ボランティア団体と協働して各年齢層に合ったおはなし会の充実を図ります。	20	中央図書館	◎	ボランティア団体と協働し、計画どおりおはなし会を実施した。(H25年度68回、H26年度62回、H27年度38回、H28年度69回)	継続
10	ホームページ、「図書館だより」などによる情報活動の充実を図り、市民に積極的に子どもの読書活動推進のための情報を提供します。	21		○	図書館ホームページで乳幼児向けおすすめ本等を掲載し、情報提供をした。「図書館だより」は、未実施だが、紙ベースで、夏休み期間向けの読書案内やテーマ展示のリストを作成した。(活動内容:本の帯に内容紹介を掲載した「オビオビ大作戦」、学校連携司書推薦の必読図書の紹介、読み聞かせボランティア推薦本の紹介、小学生向け読書感想文の書き方案内プリントの配布、児童図書館研究会の推薦本紹介等)	廃止
11	児童館など市の諸施設と連携し、子どもの読書活動の推進事業を実施することにより、広く市民に子どもの読書活動推進に対する理解と関心を深めることに努めます。			○	児童館、市内小中学校と連携し、図書室整備や本の貸出、情報提供などをした。保育園等の他施設は未実施。	継続
12	図書館の運営から各種事業の企画まで図書館運営協議会の意見を参考にするとともに、ボランティア団体と協働して、子どものための読書活動の活性化を図ります。			◎	図書館運営協議会の意見を参考に、学校連携事業を拡大し、中高生向け図書のコーナーを新設した。ボランティア団体と協働してお話し会等を開催した。	廃止
13	市内各大学との連携を図り、子ども読書活動推進のための事業を推進します。			○	愛知淑徳大学と連携し、子ども向けイベントの企画等を実施した。(H26年2回、H27年1回、H28年3回)	廃止
14	児童館など市の諸施設へ中央図書館のリサイクル資料*9を提供し再活用を図り、子どもたちが読書に親しむことができる環境づくりに努めます。			◎	児童館および市内保育園へ、リサイクル資料を提供した。	廃止

### 3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	児童館などの図書室を充実するために、本に親しみやすい環境づくりに努めます。	22	子育て支援課 中央図書館	<b>重点施策2</b> ◎	児童館図書室の古い本を廃棄し、対象年齢に適した場所に全ての本を配置換えをし、子どもたちの利用しやすい図書室作りを計画的に実施した。計6館のうち、未着手が1館、4館が終了した。	縮小
2	中央図書館と児童館の職員、そしてボランティアとの協力体制の構築に努めます。			◎	中央図書館、児童館の職員と図書修理ボランティアとが協力体制を組み、児童館図書室の紙芝居修理に大きく貢献した。(約250冊の紙芝居を修理した。)	継続
3	保護者に「子ども読書の日」や「読書週間」などにおける読書活動事業に関する情報を提供します。		中央図書館	○	「子ども読書の日」を市広報、図書館ホームページ、ポスターなどで情報を提供した。	廃止

### 4 ボランティア団体との協働の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	ボランティアグループの育成と技術向上を図るため、ボランティアの養成講座を企画します。	23	中央図書館	<b>重点施策3</b> ◎	ボランティア養成講座は、ブックスターがH29年度1回開催予定。本の修理講座がH25年度から28まで毎年1回、開催した。	継続
2	市内の諸施設で行われるボランティアの活動を通して子どもの読書活動の必要性を啓発します。			◎	学校、児童館等のボランティアが活動しやすくするため、読み聞かせに適した絵本を選書し、団体貸出した。	廃止
3	ボランティアへ中央図書館の図書館資料の貸出の便宜を図るとともに、子どもの読書活動に関する情報の提供に努めます。			○	ボランティア団体へ団体貸出をし、便宜を図った。情報提供は、未実施。ボランティア団体への貸出冊数(H25年418冊、H26年448冊、H27年261冊、H28年422冊)	充実

## 5 保育園、幼稚園における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	子どもの発達段階に応じた図書資料の選定を行うとともに、子どもたちの読書への興味、関心を高める読書活動を工夫します。	24	子育て支援課 中央図書館	×	保育園へは、中央図書館から団体貸出(1回につき30冊、30日間)を実施している。それ以外の取り組みは未実施。	改善
2	中央図書館などにおける子どもの読書活動事業に関する情報を提供し、啓発活動に努めます。		中央図書館	×	保育園、幼稚園に対しての個別の情報提供は未実施。	充実

## 6 学校における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針
1	「朝の読書活動」、「読書週間」や「子ども読書の日」などにおける全校的な取組を一層充実させ、読書力の向上に努めます。	25	教育総務課 中央図書館	◎	「朝の読書活動」は全校で実施。その他の活動は、学校の状況により実施。	継続
2	図書資料の充実を図り、学校図書館を魅力ある読書活動の拠点とします。学校連携事業における中央図書館資料の貸出を促進します。			◎	<b>重点施策4</b> 全小中学校の図書購入に中央図書館学校連携司書が選書協力した。中央図書館から学校への団体貸出を実施した。(H25年度9,276冊、H26年度9,447冊、H27年度10,360冊、H28年度10,741冊)	継続
3	読み聞かせやブックトーク*10など児童・生徒が読書に興味を持つ機会を提供し、自主的な読書習慣が身に付くよう、指導します。			○	読み聞かせは、小学校全校で実施、ブックトークは、一定の技術レベルが必要であるため、5人の連携司書のうち2人が実施。	充実
4	総合的な学習時間や調べ学習などで、学校図書館を積極的に利用する機会を増やし、広い分野にわたる読書の必要性の認識を深めます。			○	学校連携司書が司書教諭と協働し、調べ学習に必要な図書を必要な時に調達している。学校図書館と中央図書館と両方から選書し、児童生徒へ提供し、学習に役立てている。	継続
5	学校連携司書とともに、学校図書館などの使い方に関するきめ細かなオリエンテーションを実施します。			◎	毎年、4月に全校でオリエンテーションを実施。	継続
6	読書の楽しみを語る大切さを理解し、各種の読書感想文コンクールなどに積極的に応募するよう、教職員が指導します。		◎	全小中学校(小6校、中3校)で読書感想文コンクールの応募指導を実施	継続	
7	「学校図書館だより」などを通して、学校での読書活動の指導、現状を保護者に積極的に伝えます。		○	一部の学校で「図書館だより」を作成し、保護者に現状を伝えている。	充実	

# 第1次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

## 基本目標2:中央図書館などの子どもの読書環境の整備・充実

【事業評価】

【事業方針】

◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

### 1 地域における子どもの読書環境の充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	児童館などの各施設において、中央図書館との連携により図書の種類や量を充実させ、その存在の周知を中央図書館においても啓発し、子どもたちが進んで活用できるような魅力的な読書環境づくりに努めます。	26	中央図書館	◎	児童館図書室の古い本を廃棄し、対象年齢に適した場所に全ての本を配置換えをし、子どもたちの利用しやすい図書室作りを計画的に実施した。計6館のうち、未着手が1館、4館が終了した。図書室の環境整備後はそのことを中央図書館内に掲示し児童館図書室のPRし利用を促した。他施設は未実施。	廃止	基本目標1 3-1の中で実施していく
2	市内で活動している読み聞かせなどのボランティアグループに対して、その活動支援の一環として、中央図書館からの図書資料の貸出を行い、活動を支援します。			◎	ボランティア団体へ団体貸出し、便宜を図った。 ボランティア団体への貸出冊数(H25年418冊、H26年448冊、H27年261冊、H28年422冊)	廃止	基本目標1 4-3の中で実施していく
3	読み聞かせボランティアの育成やボランティア団体の活性化と技術向上を図るため、ボランティアに対して読み聞かせガイドブックなど、中央図書館のボランティア向け図書資料を紹介しします。			○	ボランティアに対して、中央図書館のボランティア向け図書資料を随時、紹介した。また、読み聞かせの勉強会で使用できるように図書を確保している。	継続	今後も事業を継続し、資料を紹介する。
4	市内の大学との連携・協力を活かし、地域社会における魅力ある子どもの読書活動の環境整備に努めます。			×	実施できなかった。	廃止	大学連携事業は、子ども読書活動推進計画に特定せず、幅広く実施していく。

## 2 中央図書館のサービスの充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	中央図書館以外で図書資料の返却ができる場所の設置を進めます。	28	中央図書館	重点施策5	西小校区共生ステーション、福祉の家の2箇所に図書資料の返却ができる場所(館外返却ポスト)を設置した。	継続	新たに11月にオープンした市が洞校区共生ステーションにも設置する
2	児童開架スペースの整備とともに、子どもたちの発達段階に応じた読書環境づくりを図り、子どもたちの図書館利用の増加に努めます。			◎	児童開架スペースは、対象年齢に適した本を配置し、読書環境を整え利用の増加に努めた。 18歳までの貸出冊数(H25年129,371冊、H26年137,705冊、H27年145,187冊、H28年149,211冊)	継続	対象年齢に応じた棚の整備を維持する。
3	子どもたちの継続的な利用を促進するため、多様で豊富な児童書を整備するとともに、調べ学習の支援体制の充実などに努めます。			◎	中央図書館、学校、児童館へ調べ学習用図書を配置した。また、土日曜日、夏休み期間に学校連携司書による調べ学習のレファレンスを随時、実施し支援体制を整えた。	廃止	基本目標1 2-4の中で実施していく
4	中学・高校生のためにヤングアダルト向けの資料の充実を図るとともに、中学・高校生の読書環境づくりに努めます。			◎	閲覧室にヤングアダルトの専用書架を設け、約1,000冊の本を収集した。展示する棚を新たに設け、コーナーを3倍に増やした。図書館のホームページに専用ページを設け、PRに努めた。また、2階多目的ルーム横に「ほんのひとやすみ」コーナーを設け、おすすめ本の紹介コーナーを設置した。投書は中高生向けコーナーに掲示した。	充実	中高生向けの本を購入し、定期的に本を入替え、棚の鮮度を保つ。地元の高校と情報交換を図る。



5	市民への児童図書の蔵書冊数、ベストリーダー*11などの情報やおはなし会の開催など、子どもの読書活動の機会に関する情報などの提供は、子ども読書活動の推進に重要な役割を果たします。そのため、情報検索システムの一層の整備を図ります。	28	中央図書館	△	総合的情報検索システムである図書館ホームページの中で図書検索の機能は、定期的に更新し改良しているが、ホームページ全体の更新ができていない。	改善	今後、図書館ホームページ全体の更新を図る。
6	障がいのある子どもたちが自主的に、楽しく読書活動を行うことができるよう、関係資料の収集とともに、読書環境の整備、サービスの向上に努めます。			○	大型絵本(蔵書冊数230冊)、朗読のCD(103枚)等の収集をした。また、平成28年度からバリアフリー絵本コーナーを設置し、布絵本19冊、点字絵本11冊、手で触る絵本16冊などを収集し、障がい者サービスを拡大した。	継続	調査研究をしてニーズに合ったより良い図書資料の購入を検討していく。
7	県立図書館などで実施される児童サービスに関する研修会に積極的に参加し、児童サービスに携わる職員のレベルアップに努めます。			◎	毎年、司書職員が児童書の研修会へ参加し、研鑽した。	廃止	子ども読書活動推進計画に特定せず、幅広く積極的に参加している。

### 3 保育園、幼稚園の読書環境の整備・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	子どもたちが楽しく絵本に触れることのできるよう、園内の図書コーナーの整備・充実に協力します。	29	子育て支援課 中央図書館	○	保育園では子どもの手に取りやすいように本の配置を工夫するなどし、配慮しているが、中央図書館からの整備協力等は未実施。	改善	中央図書館からは、本の配置等のアドバイスをしていく。
2	子どもたちの発達段階と年齢に合った絵本の整備を図ります。		子育て支援課	◎	年齢や発達段階に合った絵本等を購入している。	継続	今後も継続していく。
3	中央図書館より団体貸出を行い、図書コーナーの図書資料の充実を図ります。		子育て支援課 中央図書館	○	団体貸出は1回につき30冊、30日間で実施しているが、中央図書館から園への働きかけまではしていない。	改善	団体貸出を周知していく

### 4 学校図書館の整備・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	子どもたちの知的活動を喚起し、多様な興味・関心に応えるため、中央図書館からの団体貸出により図書資料を整備・充実させていきます。	29	教育総務課 中央図書館	◎	団体貸出を全小学校の学級文庫用を実施した。(H25年9,276冊、H26年9,447冊、H27年10,360冊、H28年10,741冊)	廃止	基本目標1 6-2の中で実施していく。
2	子どもたちが進んで学校図書館を利用できる環境を整えるため、学校図書館のレイアウトの修正などに努めます。			◎	司書教諭と協働し、書架や本の配置換え等、レイアウトの修正をした。	継続	継続し、学校図書館の環境を整える。
3	中央図書館のベストリーダーを始めとした資料の情報提供を充実させ、学校図書館の機能強化とともに様々な情報資源を活用できる環境整備に努めます。	30		◎	中央図書館が、児童書の出版案内等の良書を集めた雑誌の定期購読等の情報提供をし、学校図書館の選書に役立て、機能強化を図った。	継続	学校連携司書が児童書の出版情報等を把握し、学校図書館の選書に協力する。
4	ボランティアの協力を得て、読書活動の推進に資する様々な活動を展開していきます。			○	小中学校で、ボランティアによる朝の読み聞かせや、図書室の環境整備を行っている。(朝の読書運動、読書感想文募集は全学校で実施)	継続	引き続き、図書ボランティア等の協力を得るようにする。

## 5 学校図書館と中央図書館の連携・協働体制の強化・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	本市では、学校連携司書は学校司書*12の業務も担います。北中学校新設に対応するとともに、これまで実施してきた学校連携事業をより一層強化し、充実させるために、学校連携司書の増員を図ります。	31	中央図書館	重点施策6 ○	学校は、小学校6校、中学校3校の計9校で、連携司書は5人である。巡回数は、小学校は週に3回ほど、中学校は週に1回であり、1人の職員が複数校を受け持つ場合が多い。(H25年度3人、H26年度3人、H27年度4人、H28年度5人)	充実	増員等、学校連携司書の支援体制を検討する。
2	学校図書館の図書資料の充実と整備の面で、団体貸出の実施など中央図書館との一層緊密な連携強化を図ります。		教育総務課 中央図書館	◎	団体貸出を全小学校の学級文庫用に実施した。(H25年9,276冊、H26年9,447冊、H27年10,360冊、H28年10,741冊)	廃止	基本目標1 6-2の中で実施していく。
3	学校図書館と中央図書館の連携の維持・向上のために、学校図書館と中央図書館との連携会議を実施します。		教育総務課 中央図書館	◎	全学校の司書教諭と中央図書館連携司書、図書館事務局が一同に会する連携会議を毎年、年1回開催している。	廃止	基本目標4 1-2の中で実施していく。
4	中央図書館と学校図書館のレファレンス情報を共有化し、より充実したレファレンスサービスを図ります。		教育総務課 中央図書館	○	連携司書が中央図書館にいる時間は、レファレンスを中央図書館の司書と協働で対応するなど、充実したレファレンスサービスを提供している。	廃止	基本目標1 2-4の中で実施していく。
5	学校連携司書による読み聞かせやストーリーテリング*13などを中央図書館においても行い、より特色ある行事を企画します。		教育総務課 中央図書館	◎	学校連携司書が中央図書館で読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトークを年3回実施したほか、図書館見学ツアーを開催した。	継続	引き続き、読み聞かせ等を継続していく。
6	学校連携司書が学校で推薦した本を中央図書館の利用者にも広く紹介するため、中央図書館閲覧室におすすめ本の紹介コーナーを常設し、情報の共有化を図ります。		中央図書館	◎	児童閲覧室内に連携司書が本を推薦するためのテーマ展示書架を設けた。一年を通じておおよそ2か月ごとにテーマ展示を実施している。	継続	今後も紹介コーナーを展開していく。

# 第1次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

## 基本目標3: 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

【事業評価】

【事業方針】

◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

### 1 「子ども読書の日」や「読書週間」などにおける啓発事業の実施

① 中央図書館では、「子ども読書の日」、「読書週間」、「夏季休業日(夏休み)」などの機会を通して、家庭、地域、学校と連携し、全市的な観点から各種読書活動を推進します。

事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1 児童書講演会などの事業の充実を図り、子どもの読書活動の大切さを啓発します。	32	中央図書館	◎	児童書講演会を毎年、年1回開催した。 毎年4月23日の子ども読書の日に、終日読み聞かせをする「いちにちおはなし会」を実施した。	継続	今後も、講演会等の開催を継続していく。
2 文化の家との連携を促進し、子どもの読書活動推進に関わる情報の周知を行います。	33		○	文化の家の子ども対象イベントの内容に関する図書を選書しコーナーを設けた	廃止	子ども読書活動推進計画に特定せず、幅広く実施していく。
3 読書啓発事業として小学3年生の図書館見学や中学生の図書館職場体験に加えて、新たに高校生を対象とした「インターンシップ」事業を企画します。			×	高校生のインターンシップは、未実施。高校生への働きかけは、中高生専用書架の設置に留まった。	廃止	基本目標1 2-8の中で実施していく
4 「課題図書」(青少年読書感想文全国コンクール)や「青少年によい本をすすめる県民運動」における読書感想文募集図書の貸出事業の積極的展開を図ります。			○	課題図書等の読書感想文の対象となった図書は、毎年夏休み期間などに貸出を実施した。	改善	課題図書については、事業継続していく。
5 ポップ(POP) *14コーナーの充実を図り、子どもたちに読書の楽しさを啓発します。			◎	子ども読書の日「いちにちおはなし会」を始め、閲覧室内で児童書のテーマ展示を実施しポップの充実に努めた。(企画展示回数H25年12回、H26年9回、H27年14回、H28年13回)	廃止	児童書に特定せず、全ての企画展示を対象に実施していく。
6 ポスター、リーフレット、図書館だより、展示コーナーなどを活用し、家庭、地域、学校で「青少年によい本をすすめる県民運動」を積極的に啓発するとともに、青少年健全育成の観点からも、子どもの読書活動の推進を図ります。			◎	「青少年によい本をすすめる県民運動」を閲覧室内でテーマ展示をした。	廃止	基本目標3 1-①4の中で実施していく

7	子どもたちに「青少年読書感想文愛知県コンクール」など各種の読書感想文や読書感想画コンクールの情報をリーフレットや中央図書館ホームページを通して積極的に提供します。	33	中央図書館	○	毎年、夏の課題図書は、中央図書館ホームページに掲載し、啓発しているが、他の読書コンクール等の情報提供はしていない。	廃止	基本目標3 2-1の中で実施していく
8	ホームページを活用し、中央図書館や児童館などの活動や行事を広く市民に伝え、市民に読書や読み聞かせ活動の意義、子どもの読書活動の重要性についての理解と関心の普及を図ります。			○	中央図書館ホームページ内に子ども読書活動推進計画の専用ページを設け、活動内容等を掲載し、情報提供した。	廃止	基本目標3 2-1の中で実施していく

## ② 学校・保育園の取組み

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	学校では、「学校図書館まつり」などの行事に取り組み、良書の紹介や学校図書館の活用の意義を積極的に伝え、さらに児童・生徒の優れた読書活動の事例紹介にも努めます。	33	教育総務課	○	委員会活動による新刊図書の広報や、図書館祭り等を主体的に実施。	継続	引き続き学校連携司書と協力して、本の紹介や読書活動の事例紹介に努める。
2	保育園では、それぞれの実状に合わせた絵本の貸出を行い、さらに家庭での読み聞かせを通して親子のふれあいの場を作ることを促すとともに、保育園だよりを通して、読み聞かせの大切さを保護者に啓発します。		子育て支援課	◎	園だよりなどで絵本の楽しさや読み聞かせの大切さを記事にして、保護者に啓発しています。	継続	今後の実施します。

## 2 中央図書館をはじめとした各種情報の収集・提供

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	中央図書館のホームページ及び館内の情報環境の整備・充実を図るとともに、子どもの読書活動推進に係る適切な情報を提供します。	34	中央図書館	△	子どもの読書活動推進計画の専用ページを設けているが、中央図書館ホームページは全体の見直しを考えている。	改善	図書館ホームページ全体の見直しを考えているため、その中で、わかりやすく情報提供をしていく。
2	中央図書館では、中央図書館を始め、学校図書館、児童館、保育園などのホームページの情報環境の整備に努めます。			△	子ども読書活動推進計画の専用ページを設けているが各施設と情報共有ができていない。	廃止	中央図書館のホームページの情報環境の整備に努めます。
3	「あかちゃんえほんのリスト」など紙媒体の資料の充実を図るとともに、良書情報の提供に努めます。			◎	ブックスタート事業への参加者全員にあかちゃんえほんのリストを配布するとともに、児童閲覧室内に設置し、随時館内利用者へ配布できるようにし、良書情報を提供している。	廃止	基本目標1 1-1の中で実施していく
4	職員の情報リテラシー*15 向上に取り組むとともに、各施設間の連携を図り、子どもの読書活動に係る情報の提供と共有化に努めます。			○	職員研修へ参加し、能力の向上に努めた。学校、児童館、高校(H29年度実施予定)とは連携し情報の共有化が図られているが、保育園、幼稚園との情報提供等ができていない。	改善	今後、連携が未実施の施設との情報提供の方法等を検討していく。
5	子どもたちの読書相談を支援するため、適切な読書指導のできる人材を配置することで、子どもたちが気軽に相談できるレファレンスの充実を努めます。			○	中央図書館の児童書担当者は積極的にレファレンス研修に参加し、能力の向上に努めた。	廃止	基本目標1 2-4の中で実施していく

### 3 優れた取り組みの奨励、優良な図書の普及

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	特色ある優れた取組を行っているボランティア団体などの活動を奨励・紹介するように努めます。	35	中央図書館	◎	H24年度に中央図書館の読み聞かせボランティアを推薦し、長久手市表彰を受けた。(該当:1団体、個人3人、市制施行記念感謝状贈呈)	継続	ボランティアが表彰等を受けられるように支援していく。
2	中央図書館では、優良な図書資料に関するリストを作成し、市の学校、児童館、保育園などに配布することで、優良な図書資料を家庭、地域に周知・普及していきます。			○	乳幼児向けの優良図書リストを作成し、児童館へ配布した。学校は、連携司書が推薦する学年別の「必読書リスト」を学校で作成し、配布した。	廃止	基本目標3 3-3の中で実施していく
3	中央図書館では、中央図書館と学校、児童館、保育園などとの連携を密にして、年齢に合った推薦本を紹介していきます。			○	乳幼児向けの推薦本リストを作成し、ブックスタート事業等で配布している。また、テーマ展示書架で、年齢に合った推薦本を一年を通して紹介している。連携で把握した学校と児童館の利用状況を中央図書館の選書等に活かした。	充実	保育園への働きかけを検討していく。

# 第1次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

## 基本目標4:子どもの読書活動の推進体制の整備

【事業評価】		【事業方針】	
◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

### 1 推進体制の整備

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H29見込み)	進捗状況	事業方針	今後の方針案
1	本計画の施策を確実かつ計画的に実施できるように、図書館運営協議会で本計画の進行管理を行います。	36	中央図書館	△	毎回、活動結果の報告はしたが、計画の進行管理には、至っていない。	改善	定型的に「進行管理」の観点で報告する。
2	学校図書館と中央図書館の連携事業を強化するために、連携会議を開催し、学校図書館の一層の活性化の方策を図ります。		教育総務課 中央図書館	◎	年1回連絡会議を開催	継続	引き続き、中央図書館と学校が連携し情報交換し、学校図書館の活性化を図る。
3	地域における子ども読書活動の活性化を図るために、中央図書館から学校、児童館、保育園などの関係機関へ情報提供を積極的に行い、地域社会における子ども読書活動推進の具体的方策を推進します。		教育総務課 子育て支援課 中央図書館	○	学校、児童館とは連携事業を実施し、情報提供を積極的に行っている。保育園へ働きかけをしていない。	廃止	基本目標1 2-11の中で実施していく
4	全国の子ども読書活動推進事業に関する情報の収集とその提供に努め、本市のより良い施策の実現に活用します。		中央図書館	◎	情報収集は、積極的に取り組み、読書手帳、バリアフリー絵本の収集などの形で施策に活かした。	継続	継続的に情報収集を行い、施策に活かしていく。